

さいたま支部だより



ミランクラブジャパン埼玉支部
支部長 富澤 博子

秋の深まりと寒さが日増しに感じられるようになりました。

11月5日、“埼玉国際フェア2017”が開催されました。3年前から他の4団体と共催になり、そのためか参加する団体も減少してしまい、国際NGOの祭典としての盛り上がりも少なく、寂しいものとなってしまいました。そして、残念ながら来場者の目的も意識も違ってきたように思われます。ミランクラブは、提供されるブースの狭さから、以前のようにミルクティーの販売、またサリーの着付け等出来なくなりましたが、私達の活動にエネルギーを注ぐためにも、“この場”は、これからも大切にしていきたいと思えます。

今年、県陽高校生のボランティア応援があり、ブース内は若い活気があり、私達にとっては孫のような彼らと、ネパールの事、ミランクラブ

の事、また、彼らの今や未来の事など、楽しくお話をすることもできました。

高校生の皆さんありがとうございました。マナンダール理事長、順子さん、篠原さん、宮崎さんお疲れ様でした。



～お知らせ～

< 12月支部会 >

日 時： 12月 2日(土) 14:00～16:00
場 所： 春日部市中央公民館
連絡先： 富澤 (TEL: 048-761-0735)

【表紙の言葉】

元里子のマニタ・スナムさんは小学生からミランクラブの教育支援を受け、現在ナワルパラシ郡にある Lumbini Eye Institute Hospital で眼科医として働いている。彼女の妹のニタ・スナムさんも元里子でダン郡で眼科医になっている。